



## 🗨️ 発言回数

この3年間の議会での発言回数を調べてみました。

順位	回数	名前 (敬称略)	所属政党	役職 (委員長)
1	64	星川	無所属	
2	62	笠原	共産	建設
3	58	朝賀	共産	副議長
4	54	小鹿	共産	副議長
5	45	亀田	公明	文教・厚生
6	43	田中	民主	厚生
7	42	工藤	共産	
8	33	石島	共産	
9	31	高邑	語る会	
10	30	中田	自民	総務
11	26	嶋野	自民	総務
12	22	並木平八	自民	
13	20	平松	刷新	
14	19	川上	公明	
14	19	滝本	公明	
14	19	加藤	民主	文教
17	18	白井	公明	
18	16	細田	公明	
18	16	小川	自民	議運
20	14	森田	自民	
21	13	北村	公明	
22	11	尾崎	自民	議運
23	10	平野	自民	
23	10	羽根	民主	
25	9	並木傑	自民	議長
26	7	小池	自民	
27	7	三村	自民	議長
28	4	古沢	公明	監査
29	3	小糸	自民	

日本中の色々なところで、「市民の声を市政に！」というような看板を目にします。しかし、市民の声を市政に生かすには、まず議会で発言しなくてはなりません。市長が提出した議案に、質問も討論もなくただ起立して賛成する議員が過半数では、議会の存在価値はありません。議会での発言内容は「新座市議会会議録検索システム」で誰でも見ることができます。是非、自分が投票した議員が何をどう発言したのかを確認してください。尚、委員長は報告があるので、一般に発言回数は多くなります。(共産党の保坂議員はカウントされていません)

## 居眠り

一人会派になって、質問も討論も格段に増えました。自分の頭で考えることが多くなり、資料を何度も読み返すようになりました。この3年間で居眠りを一度も経験していないのは、聞き漏らしてはいけないという緊張感と、常に何かを発言しようという二つの緊張感があるからだと思います。

傍聴に来たことのある方は分かると思いますが、新座市議会も居眠りが多い議会です。も、というのは朝霞市議会や川越市議会をはじめ、そういう市議会が多いからです。普通の社会人だったら、仕事中に寝ることは考えられません。今の僕の議席は全員が見渡せる場所なので、誰が寝ているかがよく分かります。執行部でも寝ている人は毎回同じ。寝ない人は絶対に寝ません。議員の方で絶対に寝ない人は、残念ながら僕を入れて3名程です。発言回数と居眠りの負の相関関係は多少あるでしょう。人間は喋りながらは眠れないからです。もっとも喋りつかれて眠ってしまうこともあるようですが…。沢山の方が傍聴席に座ったら、さすがに眠れないのでは、と思います。

## 🗨️ 特別支援教育

「特別支援教育とは、従来の特殊教育の対象の障害だけでなく、LD、ADHD、高機能自閉症を含めて障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けて、その一人一人の教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものです。」

障害があっても共に育ち、学び、働き、暮らせる地域に向けて、今日本中が動こうとしています。文部科学省は昨年12月に「特別支援教育支援員の配置に必要な経費に係る地方財政措置の予定について」を通知しました。小中学校において様々な障害をもつ児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援などを行う「特別支援教育支援員」として、平成19年度250億円の予算で21000人、平成20年度までに30000人の計画的配置が予定されています。新座市でも年間87万円の予算で既に「特別支援教育ボランティア制度」が進行していますが、残念ながら「発達障害」そのものが理解されていない状況にあるように感じています。